

千葉市読書環境整備計画 概要

第1章 計画策定の趣旨

1 計画策定の背景と目的

千葉市の図書館は、昭和45年に策定した「千葉市図書館網計画」に沿って順次整備を進めてきましたが、計画策定から40年余りが経過し、図書館を取り巻く環境が大きく変化したことから、こうした環境の変化に対応し、より良い読書環境を提供していくため、本計画を策定することとしました。

2 計画の位置づけ

サービス拠点のあり方は「千葉市図書館網計画」を踏襲し検討を進めるとともに、以前には想定できなかったICT進展への対応など、主にハード面における整備の方向性を検討します。

計画期間は平成26年度からの5年間とし、計画の実施に当たっては、「資産経営基本方針」の基本的な考え方を踏まえ、施策・事業を市の実施計画に位置付けたうえで進捗を図ります。



第2章 図書館の現状と課題

1 図書館の現状

(1) サービス拠点

中央図書館1館及び地区図書館6館、分館7館、移動図書館車1台、公民館図書室21室で図書館サービスを展開しています。

(2) 休館日及び開館時間

図書館では月曜日及び第3木曜日を休館日としているほか、地区図書館及び分館では、国民の祝日も休館日としています。

(3) 図書館システム

内部事務の効率化に始まり、現在は各種インターネットサービスを提供しています。

2 図書館の抱える課題

(1) 図書館を取り巻く環境の変化に起因するもの

人口分布の変化に対応したサービス拠点の整備や人口減少社会の到来・少子超高齢化の進展に対応するためのエレベータの設置・段差の解消等のバリアフリー化、ICTの進展に対応したインターネット利用環境の整備などについて、市の財政状況を考慮した対応が求められています。

(2) 市民ニーズの多様化・複雑化に起因するもの

多様化・複雑化した市民ニーズに対応するため、開館日及び開館時間の拡大や返却ポストの設置、WEB図書館サービスの導入等のICTの進展への対応、他の読書施設との連携などが求められています。

(3) 施設や設備の老朽化等に起因するもの

老朽化した施設や設備の計画的な修繕、自動出納書庫設備の増設、「千葉市図書館サービスプラン2010」の施策・事業項目の実施に必要なインフラ等のハード的整備等が求められています。

第3章 課題解決に向けた考え方

1 課題解決の視点と基本的な考え方

I サービス拠点の整備

身近に図書館や公民館図書室が無く、図書館サービスの利用が困難である地域をできる限り解消することを目指します。

II ICTの利活用

ICTの進展に対応し、電子化された情報を利用者が直接利活用できるよう、図書館の電子化を積極的に進めます。

III 既存図書館の機能更新等

施設の修繕を的確に行うとともに、既存図書館の機能向上を目指します。

2 資産経営の基本的な考え方を踏まえた検討

資産経営の基本的な考え方を踏まえ、拠点整備をはじめ既存図書館の機能更新等の検討を行います。

1 サービス拠点の整備

(1) 図書館の整備が必要な地域と整備の考え方

①人口密集地域で近隣に図書館及び公民館図書室がない地域を洗い出し、周辺地域の人口と移動図書館の利用状況もあわせ、図書館整備が必要な地域を分析しました。



②現在最も図書館の整備が必要な地域は、第2次5か年計画の見直しの中で先送りとした花見川区瑞穂地域であることが分かりました。



③同地域に図書館を整備するにあたり、新たな用地の取得や建物の新築は非常に困難であるため、花見川区役所1Fのスペースを候補として具体的な整備を検討します。

(2) 返却ポスト等の設置

公共交通の結節点で最も利用者の多いJR千葉駅周辺へ、返却だけでなく予約図書
の受取りができる施設としての設置を検討します。

(3) 他の読書施設との連携

5つのコミュニティセンター図書室及び男女共同参画センター情報資料センターとの連携を検討します。また、その他の読書施設との連携の拡充を検討します。

2 ICTの利活用

(1) ICTの進展と今後の活用

利用者がICTのメリットを直接享受できるよう、ICTの進展への対応を加速し、時代のニーズに即した図書館づくりを進めます。

(2) ICT利活用の具体的取り組み

ア インターネット利用環境の整備

電子化された情報を利用者に提供するためのインフラとして、無線LAN(Wi-Fi)アクセスポイントを設置し、さらに、館内端末の整備を検討します。

イ 電子書籍の提供

図書館向けの電子書籍提供サービスや、インターネット上で無償提供されている電子書籍を皮切りに順次導入を進めます。

ウ その他の取り組み

郷土資料のデジタル化及び提供、タブレットを活用した高齢者・障害者向けサービスの拡充等、その他の電子図書館サービスについても導入を検討します。

3 既存施設の機能更新等

(1) 既存施設の機能更新

ア 現有建築物等（全館）

- ◎市有施設中長期保全計画に沿い適切な対応を図るとともに、併せてバリアフリー化やICTの進展に対応するためのインフラ整備を進めます。
- ◎建物の老朽化が著しく大規模改修や建替えが必要となるケースについては、資産経営基本方針の基本的な考え方を踏まえ、他の公共施設との複合化を検討するとともに、図書館の集客力を生かした地域経済の活性化等を考慮し、民間集客施設との複合化も視野に入れて検討を進めることとします。

イ 自動出納書庫（中央図書館）

- ◎現在のペースで格納すると平成30年中には容量不足の発生が見込まれることから、さらなる効率的な運用を進めるとともに、物理的な格納場所を必要としない電子書籍の導入についても検討します。
- ◎増設の必要な時期を見極めた上で、増設を市の実施計画に位置付けて着実に実施します。

(2) 開館日・開館時間の拡大

- ◎地区図書館の祝日開館を試行的に実施し、来館者数や貸出し冊数などの利用状況等を検証した上で本格実施について検討します。
- ◎分館の祝日開館については、地区図書館の試行実施の結果を踏まえ、さらに分館の利用状況や地域性等を見極めて実施に向けた検討を行います。
- ◎全図書館の月曜休館のあり方や地区図書館及び分館の開館時間の延長など、他の取り組みについても、実施の方向性や方法を検討します。

(3) 千葉市図書館サービスプラン2010との関連施策・事業

- ◎読書環境の整備を進めることにより実施可能となった「千葉市図書館サービスプラン2010」の施策・事業については、順次、その具体的なサービス内容や提供方法について改めて検討し、速やかに実施することとします。

本計画に基づき、サービス拠点の整備、ICTの利活用、既存図書館の機能更新等の取り組みを進めることで、時代の変化に呼応し、環境の整った施設として、図書館の新たな価値や魅力を創出し、市民の皆様によるこぼれ、頼られる読書環境を整備します。

これにより、社会教育及び生涯学習の推進を図り、千葉市新基本計画で掲げる実現すべきまちの個性の一つである「未来を創る人材が育つまち」の実現を目指します。